ICTサポータの活用事例

学年	教科等	単元等	活用アプリ
中1	国語	聞く・話す「よりよい話し合いをしよう」	オクリンクプラス

授業内容

話題や目的に応じて、視野やものの見方を広げる、よりよい話し合いをしよう

準備：

・共有コードを使用してカードを取得する。
・「自分の考えと根拠を書き出す」カードと「自己評価・分析」カードを子供たちのマイボードに送信する。
・みんなのボードに、「班の話し合いボード」カードと「班の話し合いの結果やまとめを振り返る」カードを送り、班の数だけ複製する。

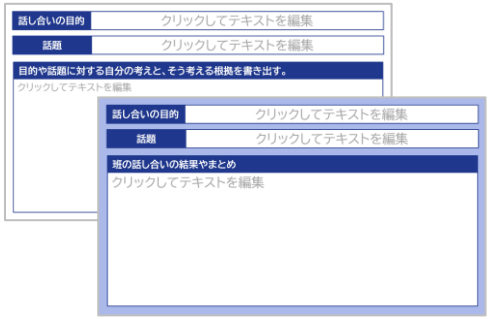
授業の流れ：

1. マイボードに送られた「自分の考えと根拠を書き出す」カードを開き、目的や話題に対する自分の考えと、その根拠を書き出す。
2. 各班のみんなのボードを開き、各自の考えと根拠をもとに「班の話し合いボード」カードを使って、考えや意見を付箋に書き出したり、意見同士をつなげたり、ペンで囲んだりして整理しながら話し合う。
   ※議事録の代わりに話し合いを音声で録音してもよい。
3. 班で作成した「班の話し合いボード」カードや議事録をもとに、各班の代表者が「班の話し合いの結果やまとめを振り返る」カードに入力し、クラス全体へ報告する。
4. 各自で「話し合いの自己評価・分析」カードを作成し、「自分の考えと根拠を書き出す」カードにつなげて提出BOXに提出する。

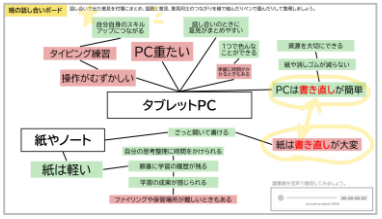
サポータおすすめポイント

- 話し合う前に自分の考えと根拠を書き出すことで、意見と根拠との関係を意識しながら考えを整理できます。
- 付箋や線を使って互いの発言を関連付けながら話し合うことで、話題や展開に沿って考えをまとめる力を育むことができます。また、話し合いの自己評価・分析を残すことで、主体的に対話へ参加できたかを振り返り、自身の学びや考えの変容を可視化することができます。

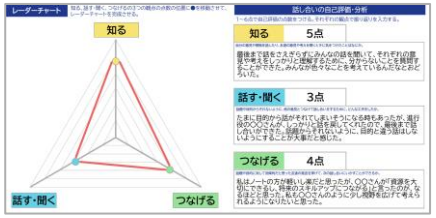
カード例



「班の話し合いボード」カードの入力例



「自己評価・分析」カードの入力例



共有コード

共有コードを入力、またはカメラを起動して二次元コードを読み込む

pb01M60S7CMPHYC98EZ8F6WMQCFY